

第23号書式（第29条）

阪航雑契第243号

競争入札経過調書（最低価格落札方式）

件 名 令和8年度 宮崎空港航空機騒音・飛行経路・地上運用実態調査

開 札 年 月 日 令和8年7月6日 （落札決定日 令和8年7月24日 ）

入 札 執 行 官 署 大阪航空局

落 札 金 額 ￥ 10,450,000 -

落 札 者 日本音響エンジニアリング株式会社

予 定 価 格 ￥ 21,174,410 -

積 算 額 ￥ 21,174,410 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 19,249,464 -

調 査 基 準 価 格 ￥ 12,704,646 - 調 査 基 準 価 格 の 100/110 ￥ 11,549,679 -

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	第1回入札	第2回入札	摘 要
	入札金額	入札金額	
日本音響エンジニアリング株式会社	9,500,000		落札
株式会社C T I ウイング	12,000,000		
一般財団法人空港振興・環境整備支援機構	12,600,000		
株式会社ニューズ環境設計	16,000,000		

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
※ 本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和8年7月24日に落札予定者を決定した。

低入札価格調査の実施概要（物品の製造又は役務の提供等）

件 名：令和8年度 宮崎空港航空機騒音・飛行経路・地上運用実態調査

発 注 機 関 名：大阪航空局

調 査 対 象 者 名：日本音響エンジニアリング株式会社

項 目	内 容
(1) その価格により入札した理由	自社保有の高性能機材の使用、ネットワーク連携による状況監視体制の導入、測定機材のコンパクト化による機材運搬の効率化、同時期に近傍の同種業務を受注することによる経費削減、また、再委託会社の協力等により効率的な実施が可能であることから、当該価格で入札したものとしている。
(2) 当該契約の履行体制	業務内容に照らして、調査対象者における、技術者及び作業数が十分であることを確認できた。また、再委託予定の業務内容と再委託先の予定技術者の能力等を照合したところ業務の体制は妥当なものであった。
(3) 当該契約期間中における他の契約請負状況	業務責任者の手持ち業務の件数は14件であるが、本業務の作業内容に照らして作業者数も十分であることから当該契約の実施に支障がないものと思料される。
(4) 手持機械の状況	当該業務の作業に必要な機械は自社で保有するものを使用していることから支障がないものと思料される。
(5) 国及び地方公共団体等から過去において受注・履行した契約件名及び発注者	調査対象者より提出された資料から、過去3年において受注・履行した契約実績は29件あり、うち4件が当局の実績であることを確認し、他機関の実績についても契約書の写しにより全て実在することを確認した。このうち、低入札案件は1件で、適正に履行されたことをヒアリングにより確認した。調査対象者は、当該業務の同種又は類似業務を過去3年以内に29件実施しており、これら業務を実施した経験が豊富で契約対象業務に要する経費の低減に資しているものと思料される。

(6) 経営内容	調査対象者の経営内容は、直近の財務諸表等の報告書から、健全な経営が行われていると判断する。
(7) (1)から(6)までの事情聴取した結果についての調査検討	調査対象者の手持業務の状況、また、過去において受注した同種又は類似業務の実績について、書面及びヒアリングにより確認したが、本業務の実施にあたり特に支障がある事項は確認されなかったことから、契約の内容に適合した履行がされないおそれがあるとは認められなかった。
(8) 信用状況	問題なし。
(9) その他の必要な事項	無